



ユ-ハイム

月刊 神戸のサッカー

1982 8月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎ (078) 232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎ (078) 861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円

神戸FCジュニア 中3の部 中2の部 で優勝

第12回 ジュニア・
サマー・フェスティバル

第12回ジュニア・サマー・フェスティバルは社団法人神戸フットボールクラブ主催、県、市サッカー協会、ならびに県、市教育委員会の後援で、8月21日から23日まで神戸中央球技場サブ外4会場で、小学4年生から中学3年生まで6部門に西日本の37チームが参加して70試合が行われた。

昨年は県トレーニングセンターが中3の部で準優勝したが、今年は神戸FCの各チームが大健闘し、中3の部、中2の部に優勝、中1の部で準優勝を果たした。

清水FCは3部門制覇

恒例のサマー・フェスティバルは今年も清水FCを始め西日本各地から強豪を招き、盛んにくり広げられた。

中3以下の部の清水FCは全員中2だったため、このクラスではやや力不足でグループ・リーグ全敗と予想外であった。この間げきをぬって決勝に進出したのが枚方FCで、技術の高さはさすがであった。優勝した神戸FCは初日に上野FCと対戦し、4-3とせり勝ち、静岡城内FCには苦戦しながら2-2で引き分け、愛知FCに6-0と完勝してから調子づき、決勝でも、中盤のパス・ワークで枚方を圧倒し、3-0でこれを下した。

兵庫県トレセンは、今年は精神的な柱となる選手を欠き、1勝2敗と不調に終わった。

中2以下の部では、初日に神戸FCと浜松JFCが対戦し、1-1で引き分けたが、2日目、3日目で神戸FCが得点を重ね、同ポイントながら得失点差で浜松を抑えて優勝した。

中1以下の部は、今年島根県から初参加の玉湯クラブを迎え活躍が期待されたが4位にとどまった。優勝した清水FCは攻守にバランスがとれ、圧倒的な勝勢を見せた。

小6以下の部と小5以下の部は静岡勢対熊

本の戦いとなり、熊本の指導者の情熱が着々と実りつつあるようだ。小6の部では熊本が浜松を2-1で下し、小5の部では清水が熊本を3-0で下した。

小4の部では清水FCが静岡城内FC、京都紫光を連破し、最終戦で神戸FCと引き分けたが無失点で優勝した。神戸FCは最終戦で押されながらも清水FCと引き分けたが、2日目に紫光に敗れたため3位に終わった。

同大会はフットボールクラブ(FC)と称するチームが多数参加しているが、その性格には2種類ある。その一つは神戸FCのように地域社会に根ざした単独の社会体育クラブで、枚方、交野、城内、愛知、高槻、松原、大河、若松などがその種のクラブ。もう一つは、いわゆる選抜FCといわれるもので清水FCのように地方協会が音頭をとって優秀な



△ 中3の部決勝 神戸FCジュニアA 対 枚方FC
シュートを放つ神戸FC上林(中央)

写真提供 富士 信男氏

選手を選抜してチームを臨時編成しているクラブで、浜松、藤枝、四日市、上野、熊本などがこの種のクラブである。この大会には双方のクラブが参加しているが、たがいに競争し、選手や指導者に良い意味での刺激となっている。これが、この大会の大きな特徴となっている。

〈成績〉

試合形式はすべてリーグ戦。ただし、中3、小6、小5の部は4チームずつのグループ・リーグの後、順位決定戦を行った。

▷中3以下の部(参加8チーム)

〔決勝〕神戸FC 3-0 枚方FC

③静岡城内FC ④広島大河FC ⑤伊賀上野FC、兵庫県トレセン ⑦清水FC ⑧愛知FC

▷中2以下の部(参加4チーム)

①神戸FC(2勝1敗) ②浜松JFC(2勝1分) ③交野FC(1勝2敗) ④松原FC(3敗)

▷中1以下の部(参加5チーム)

①清水FC(4勝) ②神戸FC(3勝1敗) ③枚方FC(1勝1分2敗) ④玉湯SC(2分2敗) ⑤香川FC(1分3敗)

▷小6以下の部(参加8チーム)

〔決勝〕熊本サッカー教室2-1 浜松JFC ③神戸FC ④京都紫光 ⑤交野FC ⑥藤枝FC ⑦広島大河FC ⑧伊賀上野FC

▷小5以下の部(参加8チーム)

〔決勝〕清水FC 3-0 熊本サッカー教室 ③四日市少年団 ④若松FC ⑤西日本JFC、浜松JFC ⑦高槻FC、神戸FC

▷小4以下の部(参加4チーム)

①清水FC(2勝1分) ②京都紫光(2勝1敗) ③神戸FC(1勝1分1敗) ④静岡城内FC(3敗)



△ 小4の部 神戸FCボーイズC斉藤が静岡城内FC陣に切り込む。

写真提供 富士 信男氏

57年度 全国高校選手権市予選終わる

御影、御影工、北須磨、滝川、赤塚山 県大会へ進出

57年度兵庫県高等学校選手権大会兼全国高等学校選手権大会の市予選は9月12日に代表決定戦を行い、御影工、北須磨、滝川、赤塚山の4校の県大会出場が決定した。なお、県高校総体優勝の御影は県大会への出場資格がすでに与えられており、神戸勢計5校の今後の活躍が期待される。

市予選はまず8月23日から26日までの4日間で参加30校を8ブロックに分けて一次リーグを行い、9月5日、12日には各ブロックの上位2校計16校が4組に分かれて、それぞれ勝ち抜き戦を行い、その勝者が県大会にこまを進めた。

一次リーグでは市内高校リーグの1、2部校を各ブロックに振り分けたこともあって、上位校はほぼ順当な顔ぶれとなったが、代表決定トーナメントでは六甲、神戸などの有力校が敗れる波乱もおこった。

この大会は高3にも出場資格があるが、チームのメンバーのうち高3の占める割合は各校によっていろいろであった。高3を軸にベストメンバーを組んで試合に臨んでいる御影工などはやはり安定した力を発揮した。インターハイ以後、高3のレギュラーの一部が抜けた学校はその穴を高2以下が十分埋めきれず、コンビネーションがみだれて本来の実力を発揮できなかったようだ。

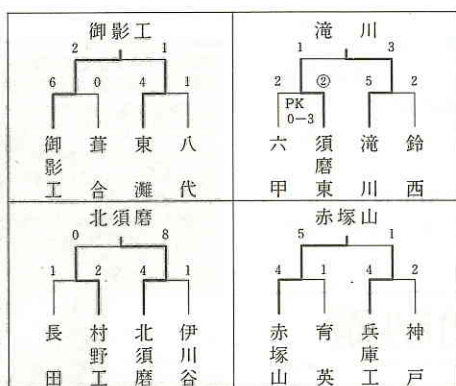
高3の夏といえば、ちょうど戦術眼、ゲーム全体の流れの理解などに磨きのかかる時期

であり、高3の活躍が県大会でも大きなキープポイントになるだろう。

(一次リーグ順位)

- 【A組】①御影工②長田③夢野台④兵庫商
【B組】①赤塚山②葺合③兵庫④神戸甲北
【C組】①東灘②兵庫工③市神戸工④市神港
【D組】①北須磨②八代③神戸西
【E組】①六甲②伊川谷③神戸北④灘
【F組】①神戸②須磨東③私神港④舞子
【G組】①滝川②育英③須磨④星陵
【H組】①村野②鈴蘭台③鈴蘭台

<代表決定トーナメント結果>



市総体 高校生の部(市内高校秋季リーグ)始まる

ハイ・レベルなサッカーをめざせ!

57年度神戸市総合体育大会(秋季市内高校リーグ)は9月12日から26日、市内10校を会場に行われる。

市内高校リーグも春季、秋季あわせて5回目となり、高校サッカーの行事としてすっかり定着してきた感があるが、反面マンネリ化を心配する声もあがっている。リーグ戦が始まった頃には、各部とも意欲的なゲームが多く、上位、下位を問わずこのリーグ戦が各チームのレベルアップにとってよい刺激となっていた。2、3部のチームは上位リーグ昇格をめざし、また1部のチームも1部であるということによりかかってしまわずに、よりハイレベルのゲームをめざしてともに積極的、意欲的なゲームを展開することが期待されている。

今回のリーグ戦を展望してみると出場資格が高2以下となっているため各チームの実力が未知数であり、従って各部ともどのチームが抜け出るかは予断を許さない状況である。特に1部では全国選手権予選に照準をあわせ

て高3を中心としたチームづくりをしていたチームもあり、新チームでの戦いとなると意外な結果がでることも十分考えられる。また、2部では八代、村野工といった最近力をつけてきたチームと、兵庫工、神戸、長田といった伝統あるチームの対決も注目される。3部には新しく科技工が加わり、4ブロックのうちA、B両ブロックは5チームずつとなった。試合数が多くなればやはり地力を持つチームが上位となることが予想される。

リーグのブロック分けは以下のとおり。

- 【1部A】御影・東灘・滝川・神戸FC
【同 B】六甲・北須磨・赤塚山・御影工
【2部A】兵庫工・神戸・村野工・八代
【同 B】灘・星陵・長田・兵庫
【3部A】神戸工専・兵庫商・育英・葺合・須磨東
【同 B】夢野台・市神港・鈴蘭台・神戸甲北・科技工
【同 C】神戸西・神戸北・須磨・鈴蘭台西
【同 D】市神戸工・私神港・舞子・伊川谷

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(821)8449
阪神御影駅南側西へ30m

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上る100m 東側

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ、トーアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック、センター街 ☎078(332)0141

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

オウビ

中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸経理専門学校斜め前(田上ビル1階)

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ヤノ運動用品

本 店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

別所中 全国大会へ

近畿大会で準優勝

第26回県中学校総合体育大会兼第34回県中学校サッカー大会は、7月30、31日の両日、姫路市立球技スポーツセンターで行われ、東播代表別所が初優勝を飾った。準優勝は阪神代表啓明で、この両校は引き続き8月6日、7日に大阪府の摂津三中と摂津高校で行われた近畿中学校総合体育大会兼全国中学校総合体育大会近畿予選に出場した。ここでも別所は健闘し、堂々二位の成績で全国大会に出場した。

なお、神戸市を代表して県大会に出場した本山中は一回戦で別所と対戦し、2-0で敗れた。

県大会は結果的には他のチームと格段の実力差のある別所の圧勝に終わった。しかし、ダークホースの啓明は粘り強い展開を見せ、大会前の予想で新人戦優勝の竜野西と実力の別所の争いであろうと見られていたが、これをくつがえして決勝に進出し、大会をわかせた。

優勝した別所は全員のスピード、ファイト、当たり、シュート力などの点で断然他を引き離していた。特に、CF藤村のスピードあふれる突進力はどのチームも防ぐことができず兵庫県としてはひさびさに近畿での上位進出を狙えるチームであった。

つづく近畿大会では、各府県二校ずつの代表を4グループにわけ、第1日に一次リーグ、第2日に決勝トーナメントを行い、全国大会出場の五校が決定された。

別所は一次リーグで大阪2位の南千里に苦しみ、引分けにもちこまれたものの、奈良1位の新庄とのゲームに俊足の藤村、田中の活躍で勝利を収め、期待にたがわず決勝トーナメントに勝ち残った。

さらに、準決勝でも強敵と見られていた滋賀2位の甲南と対戦したが、相手がマークを誤ったこともあり、前半で早くも藤村がハット・トリックを記録するなど、7-0で大勝した。

決勝では大阪1位の摂津三中と対戦した。このゲームもむしろ別所が押し気味であったが、さすがに摂津三中も試合運びがうまく、厚い守備にはばまれて得点を奪えず、逆に数少ないチャンスをものにされてわずかのところで優勝を逃した。

また、啓明は悪いクジ運にもかかわらず、強豪相手によく戦った。守備面では何とか互角に戦えたものの攻撃の糸口をつかめず、無得点のまま一次リーグで敗れ去った。

兵庫県中学校総合体育大会結果

啓明中(阪神)	1	1	別所初優勝
龍野西中(西播)	0	0	
豊岡南中(但馬)	0	0	
辰美中(淡路)	4	0	
春日中(丹有)	0	0	
飾磨西中(中播)	6	0	
別所中(東播)	2	5	
本山中(神戸)	0	0	

おわび

8月号の発行が大変遅くなり、また紙面が記事の内容で2ページとなりましたことを深くおわび申し上げます。次号から遅れないよう編集員一同一生懸命がんばります。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10

三木記念神戸市立スポーツ会館内

神戸市サッカー協会 078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。